

図画工作科学学習指導案

【題材】カゼ装置（工作）

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	<ul style="list-style-type: none"> ・風の力の強弱や向きによってものの動き方や感じ方が変わることについて理解する力（共（1）ア） ・使用する材料の重さや硬さなどの特徴を生かし、表し方を工夫する力（A（2）イ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・風の力を用いて工作に表す活動を通して、ものの動き方や使用する材料を考えながら、意図や用途と関連させて、よさや美しさ、表し方について考える力（A（1）イ） ・風の力の強弱や向き、材料の色や重さ、硬さを基に自分のイメージや思いをもつ力（共（1）イ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・つくりだす喜びを味わい、風の力を用いて工作に表す活動を工夫しながら楽しく取り組む態度
児童の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・風の力が働くと、木が揺れたり、旗がなびいたりするなど、ものが動くことは知っているが、風の力を自分の意図や用途と関連させて表せること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具を組み合わせながら自分のイメージや思いに沿って工作に取り組むことができる。 ・風という事象から自分のイメージをもつことはできるが、造形的な視点を基にそれらがもつよさや美しさ、自分が表したいことについて考えたことはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形活動に取り組む中で、偶然できた自他の表現を楽しむことができる。 ・自分の造形活動に没頭し、友達の作品や活動に関心がもてないことがある。
価値	<ul style="list-style-type: none"> ・風は目に見えない事象である。しかし、風に揺れるカーテンや木々、風に舞う砂埃など、ものを通して存在を感じることができる。そして、身の周りにはそうした風の力の働きを用いたものがある。モビールや鯉のぼり、風車などは、風を受けることで動きが生まれ、飾られている空間を印象付けたり、風情を感じたりすることができ、風鈴は風の力によって舌が外見と接触し音を鳴らすことで、人々に清涼感を与えるという意図や用途をもっている。このように風という事象は単体では目に見えないが、ものを媒介とすることで、ものが揺れたり、なびいたり、回転したりするなどの動きが生まれ、風という事象のよさや美しさを捉えることができる。本題材では、造形的な見方・考え方を働かせながら風という事象を捉えることで、よさや美しさを見いだしたり、意図や用途を考えたりしながら材料や用具を工夫して、目に見えない事象に対しても働きかけることができるようになる。 ・風の力や材料の特徴を基に仕掛けをつくることは、風という目に見えない事象にもものを通して働きかけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風の強弱や向き、材料の重さや硬さなどの視点を基に動きの変化を試すことは自分なりのイメージや思いをもったり、広げたりすることができる。 ・仕掛けの意図や用途を考える際に、作品を見た人が感じてほしいことや思っしてほしいことを考えながら活動できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な動きの変化と意図や用途を考える際に、友達のものの動き方や意図や用途の表し方の違いを楽しむことができる。
見方・考え方	風の力を強弱や向き、材料の特徴からものの動き方の変化を捉え、自分のイメージや思いをもちながら意味や価値をつくりだすこと。		
今後の学習	6年「どんな動きをするのかな」でクランクで動く仕掛けから表したいことを考え、クランクの動きを生かした作品をつくる学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	風の力の強弱や向き，使用する材料の特徴を基にしたものの動き方と意図や用途を関連付けながら，進んで風の力で動く仕掛けをつくっている。		
評価 規準	<p>(①知・技) 風の力を基に仕掛けをつくる際の自分の感覚や行為を通して，風の力の強弱や向きによるものの動き方や感じ方について理解するとともに，使用する材料の重さや硬さなどの特徴を生かしながら表し方を工夫している。</p> <p>(②思・判・表) ものの動き方や使用する材料の重さや硬さなどの特徴を考えながら，意図や用途について考えたり，風の力の強弱や向きを基に自分のイメージや思いをもったりして活動している。</p> <p>(③主体的態度) 風の力の強弱や向き，材料の重さや硬さなどの特徴を生かしながら仕掛けをつくる活動を楽しもうとしている。</p>		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	2	<p>○風の力の強弱や向きよってものの動き方や感じ方が変わることを基に，表したいことを考える。</p> <p>— 学習のめあて —</p> <p>風の力の強弱や材料の特徴を試しながら風のよさが伝わるカゼ装置をつくろう</p>	<p>○風の力によってももの動き方や感じ方が変わること気付けるよう，風の強弱や向きを変えられる扇風機や団扇を複数用意する。</p>
あらわす・ひろげる	4	<p>○風の力で動く作品を製作する。(本時1/4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風の強弱や向きの決定 ・材料の決定 ・意図や用途の決定 ・仕掛けの完成 ・装置(作品)の完成 	<p>○友達が製作した作品が見合うことでイメージや思いが広がるように，振り返りを共有できる環境を設定する。</p> <p>○材料の特徴によってももの動き方や感じ方が変わること気付けるよう，様々な重さや硬さの材料を用意する。</p>
ふりかえる	1	<p>○作品を鑑賞したり，自分の造形活動を振り返ったりする。</p>	<p>○製作の過程から自分や友達が製作した仕掛けからよさや美しさを感じ取れるように，これまで記録してきた振り返りを1つにまとめる機会を設定する。</p>
			<p>評価項目<評価方法(観点)>※太字は「記録に残す評価」</p> <p>◇風の力の強弱や向きによってももの動き方や感じ方が異なることについて記述している。 <記述①></p> <p>◇風の力の強弱や向き，材料の特徴と作品の意図や用途を関連させながら，表し方を試している。 <行動②></p> <p>◇動きや材料の特徴と意図や用途とを関連させながら風の力を基に仕掛けのよさや美しさについて発言したり記述したりしている。 <発言・記述③></p>

本時の学習 (3/7時間目)

ねらい 風のかで動く仕掛けを製作する活動を通して、風の強弱や向き、材料の特徴を工夫しながら表したいことを考えることができる。
 評価項目 風のかの強弱や向き、材料の特徴と作品の意図や用途を関連させながら、表し方を試している。

<行動②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>・風のかと紙を組み合わせたらどんな仕掛けができるだろう。 (目的意識)</p> <p>めあて：風のかと材料の特徴を基にものが動く仕掛けをつくろう</p>	<p>○本時で表したい風のイメージや思いを想起し、活動の見通しがもてるよう、前時の活動で試して気付いたことを振り返るよう促す。</p>
<p>2 作品の仕掛けをつくる。</p> <p>・コピー用紙を台紙にして、その上に細く切った紙をたくさん立てて並べて、風を当てると波打つような草原のように見えるな。 ・コピー紙だと硬さがあまりないから、ぺたんと寝ている状態になってしまうな。同じ紙を使っている友達はどんな紙を使っているのかな。 ・友達に聞くとコピー用紙以外にも画用紙や模造紙などの紙を使っていたな。硬さが違う紙で試してみたら紙のなびく動きが変わったよ。 ・風を弱く当てるとなびく動きがやわらかい感じがするな。画用紙だから風を強く当てても倒れないけれども、私は弱く風を当てた方が好きだな。 ・この仕掛けのサイズをもう少し大きくして、家にいても、風になびく大きな草原を感じられるような作品にしたいな。</p> <p>・いろいろな紙の硬さや大きさ、長さで動き方を試したよ。やわらかい紙は立たないけど、動きが大きくなるな。硬い紙はしっかり立って弱い風を当てると動き方がやさしくなることがわかったよ。 (目的を達成した意識)</p>	<p>○ものの動き方から意図や用途を考えられるよう、試したものの動き方を基に感じたイメージや思いを問いかける。 ○仕掛けの製作が行き詰っている子どもが材料の特徴からイメージや思いが広がるよう、共通する材料を使用していたり、似たイメージや思いをもっていたりする友達の活動を見るよう促す。 ○ものの動き方や感じ方の変化に気付けるよう、風のかの強弱や向きを変えたり、似た特徴をもつ材料を試したりするよう促す。 ○意図や用途が具体的に考えられるように、仕掛けの動きを見たときに想定される人の反応やその仕掛けが活かせる状況や場所のイメージを問いかける。 ○風のかの強弱や向き、材料の硬さや重さなどの造形的な視点でもの動き方を試せていることを実感できるように、風のかや材料の特徴と動き方を関連付けている児童の行為やつぶやきを共感的に受け止めたり、紹介したりする。</p>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。</p> <p>・紙の種類や風のかの強さで動き方が変わるということがわかったよ。 ・次の時間は紙だけでなく、別の材料も使ってみたいな。針金と紙を使って稲穂を作りたいな。針金を使って草の茎を作って、穂の部分を紙にしてつくってみたいな。</p>	<p>○本時で取り組んだことから自分なりの意味や価値を自覚できるよう、風のかと材料の特徴の視点で、振り返りができている児童を称賛する。 ○次時の活動の見通しがもてるように、本時の活動の課題などを基に次時で取り組みたいことを発表するよう促す。</p>